

## 令和5年度 北海道美唄尚栄高等学校シラバス

教科	国語科	科目(選択群)	古典探究(2年選択Fz1・2)	単位数	4単位
科目の目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。				
特に身に付けたい力(尚栄GP)	思考力、人間関係形成能力、発信力				
教科書・副教材	「古典探究 古文編」(大修館書店) 「個展探究 漢文編」(大修館書店)				
学習上の留意点	(1)教師や友人の発言をしっかりと聞き、自分の意見を持ち、授業規律を守って取り組むこと。 (2)授業に対する意欲・関心を持ち、積極的に発言したり、ペアワークやグループワークに主体的に参加したりすること。 (3)学習の見通しをもち、提出物の期日などをしっかり守ること。				

### 評価の観点、観点別学習状況の評価基準

評価の観点	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
評価基準	古典に用いられている語句の意味や用法、文章の種類とその特徴や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	文章の種類を踏まえて構成や展開、内容を的確に捉え、作品の価値について考察や評価することを通して自分のものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
A 十分満足できる	古典に用いられている語句の意味や用法、文章の種類とその特徴や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について十分理解し、語彙を豊かにしている。	文章の種類を踏まえて構成や展開、内容を的確に捉え、作品の価値について考察や評価することを通して自分のものの見方、感じ方、考え方を十分に広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を十分に深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を十分に深め、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとしている。
B おおむね満足できる	古典に用いられている語句の意味や用法、文章の種類とその特徴や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色についておおむね理解している。	文章の種類を踏まえて構成や展開、内容を的確に捉え、作品の価値について考察や評価することを通して自分のものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとしている。
C 努力を要する	古典に用いられている語句の意味や用法、文章の種類と特徴や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞など表現の特色についての理解が不十分である。	作品を通して自分のものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりすることができていない。	我が国の言語文化の担い手としての自覚が不十分である。
評価方法	単元テスト、学習課題、授業での発言内容など	単元テスト、学習課題、ノートやワークシートの記述内容 授業での取り組み状況など	学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など

令和5年度 「古典探究」 年間学習計画

学期	時間	単元・学習内容	評価の観点（評価規準）	I C T活用の場面
前期	5	十訓抄「大江山いくのの道」	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し古典を読むために必要な語句の涼を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> </ul>	前時の振り返り
	5	今昔物語集「安倍清明」		学習の記録
	8	随筆「徒然草」		既習事項の定着度合いを確認する小テスト
	15	故事・逸話 「知音」「画竜点睛」「漱石枕流」「塞翁馬」		読解を深めるための情報収集
	8	漢詩「竹里館」「登岳陽楼」		写真など参考資料の提示
	5	宇治拾遺物語「検非違使忠明」		
	8	随筆「方丈記」		
	8	物語「竹取物語」		
8	物語「伊勢物語」			
後期	8	史伝「項羽と劉邦」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め作品の価値について考察している。</li> <li>・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>学習課題に沿って積極的に学習に取り組み、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	前時の振り返り
	10	史伝「鴻門の会」		学習の記録
	10	史伝「項王の最期」		既習事項の定着度合いを確認する小テスト
	6	随筆「枕草子」		文章の読解を深めるための情報収集
	6	日記「土佐日記」		
	10	物語「平家物語」		話し合いのために必要な情報の収集
	7	思想「論語」「本性」		
	7	文章「桃花源記」		
6	小説「定伯売鬼」	写真など参考資料の提示		
計	140			

## 令和5年度 北海道美唄尚栄高等学校シラバス

教科	国語科	科目(選択群)	古典探究(2年選択Fz1・2)	単位数	4単位
科目の目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。				
特に身に付けたい力(尚栄GP)	思考力、人間関係形成能力、発信力				
教科書・副教材	「古典探究 古文編」(大修館書店) 「個展探究 漢文編」(大修館書店)				
学習上の留意点	(1)教師や友人の発言をしっかりと聞き、自分の意見を持ち、授業規律を守って取り組むこと。 (2)授業に対する意欲・関心を持ち、積極的に発言したり、ペアワークやグループワークに主体的に参加したりすること。 (3)学習の見通しをもち、提出物の期日などをしっかり守ること。				

### 評価の観点、観点別学習状況の評価基準

評価の観点	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
評価基準	古典に用いられている語句の意味や用法、文章の種類とその特徴や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	文章の種類を踏まえて構成や展開、内容を的確に捉え、作品の価値について考察や評価することを通して自分のものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
A 十分満足できる	古典に用いられている語句の意味や用法、文章の種類とその特徴や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について十分理解し、語彙を豊かにしている。	文章の種類を踏まえて構成や展開、内容を的確に捉え、作品の価値について考察や評価することを通して自分のものの見方、感じ方、考え方を十分に広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を十分に深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を十分に深め、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとしている。
B おおむね満足できる	古典に用いられている語句の意味や用法、文章の種類とその特徴や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色についておおむね理解している。	文章の種類を踏まえて構成や展開、内容を的確に捉え、作品の価値について考察や評価することを通して自分のものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとしている。
C 努力を要する	古典に用いられている語句の意味や用法、文章の種類と特徴や展開の仕方、言葉の響きやリズム、修辞など表現の特色についての理解が不十分である。	作品を通して自分のものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりすることができていない。	我が国の言語文化の担い手としての自覚が不十分である。
評価方法	単元テスト、学習課題、授業での発言内容など	単元テスト、学習課題、ノートやワークシートの記述内容 授業での取り組み状況など	学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など

令和5年度 「古典探究」 年間学習計画

学期	時間	単元・学習内容	評価の観点（評価規準）	I C T活用の場面
前期	5	十訓抄「大江山いくのの道」	<b>【知識・技能】</b> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し古典を読むために必要な語句の涼を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。  <b>【思考、判断、表現】</b> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。  ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め作品の価値について考察している。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ考えを広げたり深めたりしている。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	前時の振り返り
	5	今昔物語集「安倍清明」		学習の記録
	8	随筆「徒然草」		既習事項の定着度合いを確認する小テスト
	15	故事・逸話 「知音」「画竜点睛」「漱石枕流」「塞翁馬」		読解を深めるための情報収集
	8	漢詩「竹里館」「登岳陽楼」		写真など参考資料の提示
	5	宇治拾遺物語「検非違使忠明」		
	8	随筆「方丈記」		
	8	物語「竹取物語」		
後期	8	史伝「項羽と劉邦」	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 学習課題に沿って積極的に学習に取り組み、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。	前時の振り返り
	10	史伝「鴻門の会」		学習の記録
	10	史伝「項王の最期」		既習事項の定着度合いを確認する小テスト
	6	随筆「枕草子」		文章の読解を深めるための情報収集
	6	日記「土佐日記」		話し合いのために必要な情報の収集
	10	物語「平家物語」		写真など参考資料の提示
	7	思想「論語」「本性」		
	7	文章「桃花源記」		
計	140			

令和5年度年間学習計画（シラバス）

教科名 国 語

科目名

**国語表現**

3年J選択

科目の目標	国語を用いて、適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 身に付けさせたい資質・能力：思考力、人間関係形成能力、発信力		
履修年次	3年次	単位数	2
授業の方法	一斉・グループ		
教科書 副教材	『国語表現』（大修館書店）		
学習に必要な 物品・費用等	ファイル		
学習の目標	(1) 表現活動を行う上で必要となる基本的な言語を習得する。 (2) 様々な表現活動を通して、積極的に他者とコミュニケーションを図る態度を身に付ける。 (3) 自分の進路を考えて、基本的な国語の知識と的確な表現力を身に付ける。 (4) 目的や場にふさわしい表現を学び、自分の意思を正しく伝える力を身に付ける。		
学習の内容と 主な学習活動 ・言語活動	(1) 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりすること。 （発表、討論、等） (2) 相手の立場や異なる考えを尊重して課題を解決するために、論拠の妥当性を判断しながら話し合うこと。 （調査したことを整理して、解説や論文にまとめる等） (3) 主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書くこと。 （詩歌や小説の創作、鑑賞したことを書く等） (4) 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりすること。 （紹介、連絡、依頼などの表現をする等） (5) 様々な表現についてその効果を吟味したり、書いた文章を互いに読み合っ て批評したりして、自分の表現や推敲に役立てるとともに、ものの見方、 感じ方、考え方を豊かにすること。 （文語文・口語文、韻文・散文、和文体・漢文体等）		
学習の留意点	(1) 教師や友人の発言をしっかりと聞き、自分の意見を持ち、授業規律を守って取り組むこと。 (2) 授業に対する意欲・関心を持ち、主体的に読解・表現しようとする姿勢をもって、しっかりと身に付けていくこと。 (3) 発言及びノートや課題の提出もきちんとして行うこと。		
評価方法	(1) 評価の観点は、「関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「知識・理解」の4領域とする。 (2) 上記の4領域を踏まえて、学習活動に取り組む姿勢、提出された課題の内容、定期考査及び小テストの結果等から総合的に評価する。		

令和5年度 「国語表現」年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考査等				
前期	4	15	《第1部》 ●表現力を培う 1 書いて伝える	オリエンテーション 文章を書く意味 1 「整った文を書く」 2 「わかりやすい文を書く」 3 「文のつなぎ方」 4 「絵や写真を見て書く」	【関心・意欲・態度】 積極的に語彙を増やそうとしている。 【書く能力】 漢字、仮名遣い、送り仮名について正確に使いこなすことができる。 【知識・理解】 表記、文体、敬語、言葉遣い等、整った文を書くために必要な知識を身に付けることができる。	行動の観察 ワークシート 課題提出  中間考査				
	5	7					18	2 小論文・レポート 入門	1 「小論文とは何か」 2 「反論を想定して書く」 3 「資料を読み取って書く」 4 「発想を広げて書く」 5 「レポートを書く」 6 「論文を書くために」	【関心・意欲・態度】 小論文執筆に強い関心を持ち、よりよい小論文を書くために構成や記述、推敲等さまざまなことを学び取ろうとしている。 【書く能力】 テーマに応じて理由や根拠を明確にし、筋道を立てて説得力のある小論文を書くことができる。 【知識・理解】 常用漢字を正確に用い、正しい表記や整った文で書くことができる。
	6									
後期	10	7	5 声とコミュニケーション  4 メディアを駆使する 6 会話・議論・発表	1 「言葉のストレッチ体操」 2 「メディアと情報」  1 「相手や場面に応じた会話」 2 「議論して結論を出す」 3 「プレゼンテーションの工夫」	【関心・意欲・態度】 効果的に伝えることや相手の話を聞く姿勢を意識し、意欲的に学習に取り組もうとしている。 【話す・聞く能力】 効果的に伝えることを考え、声の大きさやスピード、抑揚などを意識しながら声を出したり、他者の良い点や課題を指摘したりすることができる。 【知識・理解】 発表を意識し、適切な言葉遣いで話すことができる。	行動の観察 ワークシート 課題提出  中間考査				
	11	15					3 自己PRと面接	1 「自分を見つめて」 2 「効果的な自己PR」 3 「将来の自分を考えよう」 4 「志望動機をまとめよう」 5 「面接にチャレンジ」	【関心・意欲・態度】 自らの経験を振り返り、必要に応じて人から聞いたり調べたりして、積極的に情報を集めようとしている。 【話す・聞く能力】 意見の根拠となる具体的な出来事を明確に示しながら、長所、短所について考えを深めることができる。 【書く能力】 自分の経験、体験とそこから得たことを区別して、記入することができる。 【知識・理解】 話し合いにおいて課題を解決するために、的確な言葉を用い表現を工夫している。また、常用漢字を適切に用いている。	
	1	5								《第2部》 ●表現を楽しむ
計		60								



## 令和5年度 北海道美唄尚栄高等学校シラバス

教科	国語科	科目(選択群)	文学国語(2年共通)	単位数	2単位
科目の目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
特に身に付けたい力(尚栄GP)	思考力、人間関係形成能力、発信力				
教科書・副教材	「文学国語」(東京書籍) 「書きたくなるアシスト常用漢字」(数研出版編集部)				
学習上の留意点	(1)教師や友人の発言をしっかりと聞き、自分の意見を持ち、授業規律を守って取り組むこと。 (2)授業に対する意欲・関心を持ち、積極的に発言したり、ペアワークやグループワークに主体的に参加したりすること。 (3)学習の見通しをもち、提出物の期日などをしっかり守ること。				

### 評価の観点、観点別学習状況の評価基準

評価の観点	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
評価基準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
A 十分満足できる	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能が十分に身に付き、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	創造的に考え、深く共感したり豊かに想像したりすることおよび、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを十分に広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を十分に深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての強い自覚をもち、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとしている。
B おおむね満足できる	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能がおおむね身に付いており、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	創造的に考え、深く共感したり豊かに想像したりすることおよび、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることがおおむねできている。	言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつことができている。
C 努力を要する	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能および我が国の言語文化に対する理解が身に付いていない。	創造的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が身に付いていない。自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができていない。	言葉がもつ価値への認識および、我が国の言語文化の担い手としての自覚が不十分である。
評価方法	単元テスト、学習課題、授業での発言内容など	単元テスト、学習課題、ノートやワークシートの記述内容 授業での取り組み状況など	学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など

令和5年度 「文学国語」 年間学習計画

学期	時間	単元・学習内容	評価の観点（評価規準）	ICT活用の場面
前期	2	筆者の感じ方や思いを読み取り、ものの見方を広げる 「雨月物語」 （読むこと）	<b>【知識・技能】</b> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章における文体の特徴や習字などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。  <b>【思考・判断・表現】</b> 「書くこと」 ・文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 ・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になりよう工夫している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。  「読むこと」 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通し内容を解釈している。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ作品の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	前時の振り返り  学習の記録  既習事項の定着度合いを確認する小テスト  文章の読解を深めるための情報収集  プレゼンテーションの作成、発表、相互評価  写真など参考資料の提示
	8	小説に描かれた世界を味わい、人間の在り方について理解を深める 「山月記」「窓」 （読むこと）		
	7	小説を創作する（書くこと）		
	8	評論に述べられた内容を的確に理解し、言葉の意義や特質について考える 「言葉を生きる」「詩と感情生活」「書評を書く」 （読むこと）		
	9	小説に込められた寓意や描かれた人々の姿から、生きることへの考えを深める 「山椒魚」 「沖縄の手記から」 （読むこと）		
後期	7	詩歌の表現の特色を理解して味わう 「鉄」「竹」「永訣の朝」「硝子の駒」 （読むこと）	「読むこと」 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通し内容を解釈している。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ作品の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	前時の振り返り  学習の記録  既習事項の定着度合いを確認する小テスト  文章の読解を深めるための情報収集  写真など参考資料の提示
	8	詩を創作する（書くこと）		
	7	小説における場面展開や心理描写を読み取る 「こころ」 （読むこと）		
	6	具体例や引用と筆者の主張との関係に注意して読む 「文学のふるさと」「文学の未来」 （読むこと）		
	8	物語の展開や状況の変化に注意して小説を読む 「鞆」「あの朝」 （読むこと）		
計	70			



# 令和5年度年間学習計画（シラバス）

教科名 国語

科目名

文学史研究

3年課題研究選択

科目の目標	国語に関する課題を解決するため仮説を設定し、その課題の解決を図る学習や仮説を検証していく過程を通して専門的な知識と国語的教養の総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を養う。 身に付けさせたい資質・能力：思考力、行動力、創造力、発信力		
履修年次	3年次	単位数	2
授業の方法	座学・演習		
教科書 副教材	特になし		
学習に必要な 物品・費用等	特になし		
学習の目標	(1) 国語に関する身近な課題を設定し解決を図るために調査・研究を行うことで、国語的思考力や想像力を伸ばす。 (2) 言語文化に対する興味・関心を高め尊重する態度を養う。 (3) 調査・研究の結果を的確にまとめ、わかりやすく伝える方法を工夫する。		
学習の内容と 主な学習活動 ・言語活動	(1) 調査・研究活動 (身近で論証可能な課題の設定、調査研究計画の立案、調査、研究等) (2) レポート (レポート作成等) (3) プレゼンテーション (パワーポイント、発表原稿の作成、発表練習等)		
学習の留意点	(1) 常に主体的に学習に取り組むことを心がけ、何事に対しても常に自分の考えを持って、課題を解決するために積極的に取り組みましょう。 (2) グループ研究や発表の際には、他人の意見や話を尊重して聞き、協力して行いましょう。 (3) 課題は期限までに確実に提出しましょう。		
評価方法	(1) 研究毎の学習状況について、「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の5つの観点を、A・B・Cで評価します。 (2) 各学期の評価は、上記のA・B・Cを平均したものとします。 (3) 年度末の評定は、各学期の成績を総合して評価します。		

令和5年度 「文学史研究」年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考査等
前期	4	35	オリエンテーション	授業内容の確認	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の言語活動に興味や関心を持ち、課題設定や計画の立案をし、自らの課題解決に向け、積極的に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の考えを深め、わかりやすく表現したりの確に聞き取ったりすることができる。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容や様々な情報を叙述に即して的確に読みとることができる。</li> </ul> <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を分析し、その結果をわかりやすくまとめることができる。</li> </ul> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の基礎的・基本的な知識や文学や言語文化に関する教養を身に付け、それらを運用することができる。</li> </ul>	行動の観察 ワークシート レポート 課題提出
	5		文学史の学習	小説、物語、随筆、評論、詩、短歌、俳句、漢字、語句、表現技法等		
	6					
	7					
	8					
9		調査・研究活動（グループ）	課題の設定 調査計画の立案 調査 中間のまとめ			
後期	10	25	調査・研究活動（個人）	調査	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を分析し、その結果をわかりやすくまとめることができる。</li> </ul> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の基礎的・基本的な知識や文学や言語文化に関する教養を身に付け、それらを運用することができる。</li> </ul>	行動の観察 ワークシート レポート 課題提出 発表
	11		まとめ	最終まとめ		
	12		発表	課題研究発表会		
	1		ふりかえり	ふりかえりと反省		
計		60				

## 令和5年度 北海道美唄尚栄高等学校シラバス

教科	国語科	科目(選択群)	現代の国語(1年共通)	単位数	2単位
科目の目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。				
特に身に付けたい力(尚栄GP)	思考力、人間関係形成能力、創造力、発信力				
教科書・副教材	「新編 現代の国語」(数研出版) 「書きたくなるアシスト常用漢字」(数研出版編集部)				
学習上の留意点	(1) 教師や友人の発言をしっかりと聞き、自分の意見を持ち、授業規律を守って取り組むこと。 (2) 授業に対する意欲・関心を持ち、積極的に発言したり、ペアワークやグループワークに主体的に参加したりすること。 (3) 学習の見通しをもち、提出物の期日などをしっかりと守ること。				

### 評価の観点、観点別学習状況の評価基準

評価の観点	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
評価基準	語句や漢字、文章などにおいて、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
A 十分満足できる	語句や漢字、文章などにおいて、実社会に必要な国語の知識や技能がしっかり身に付いている。	論理的に考え、深く共感したり豊かに想像したりすることができている。 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを十分に広げたり深めたりしている。	言葉のもつ価値への認識を十分に深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての強い自覚をもち、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとしている。
B おおむね満足できる	語句や漢字、文章などにおいて、実社会に必要な国語の知識や技能がおおむね身に付いている。	論理的に考え、深く共感したり豊かに想像したりすることがおおむねできている。 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることがおおむねできている。	言葉のもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつことができている。
C 努力を要する	語句や漢字、文章などにおいて、実社会に必要な国語の知識や技能が十分に身に付いていない。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が身に付いていない。 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができていない。	我が国の言語文化の担い手としての自覚が不十分である。
評価方法	単元テスト、学習課題、授業での発言内容など	単元テスト、学習課題、ノートやワークシートの記述内容 授業での取り組み状況など	学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など

令和5年度 「現代の国語」 年間学習計画

学期	時間	単元・学習内容	評価の観点（評価規準）	ICT活用の場面
前期	4	書き手の意図をつかむ 「目指す世界の地図を作る」 (読むこと)	<b>【知識・技能】</b> 主な常用漢字を使い、文章の効果的な組み立て方や説明の仕方について理解し、実社会において必要な語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。  <b>【思考・判断・表現】</b> 聞き取った情報をもとに話の内容や構成、表現の仕方、論理の展開を的確に捉えて要旨や要点を把握し、自分の考えや事柄が的確に伝わるように文章を工夫している。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 学習課題に沿って積極的に学習に取り組み、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。	前時の振り返り 学習の記録
	4	説明する、メモをとりながら聞く (話すこと・聞くこと)		既習事項の定着度合いを確認する小テスト
	4	表記・表現のルールを理解する (書くこと)		文章の読解を深めるための情報収集
	6	文章を読み、自分の考えを論述する「ものづくり」 (書くこと)		スピーチ動画の撮影、動画を用いた相互評価
	11	効果的なプレゼンテーションをする (話すこと・聞くこと)		プレゼンテーションの作成、発表、相互評価
	6	写真を文章で説明する (書くこと)		写真など参考資料の提示
後期	6	対比構成をとらえ要旨を把握する「水の東西」 (読むこと)	<b>【知識・技能】</b> 主な常用漢字を使い、主張と論拠など、情報と情報との関係や、比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解して使っている。  <b>【思考・判断・表現】</b> 文章に含まれている情報を相互に関係付けながら内容や書き手の意図を解釈したり、文章の展開や構成について評価したりすることで、自分の考えを深め、根拠の示し方や説明の仕方、話し合いの仕方を工夫している。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 粘り強く学習に取り組み、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	前時の振り返り 学習の記録
	6	相手に必要な情報を的確に伝える実用的な文章を書く (書くこと)		既習事項の定着度合いを確認する小テスト
	6	情報を関連付けて内容を解釈する「コインは円形か」 (読むこと)		文章の読解を深めるための情報収集
	4	必要な情報を整理して書く (書くこと)		話し合いのために必要な情報の収集
	5	結論の出し方を工夫して、合意形成のための話し合いをする (話すこと・聞くこと)		写真など参考資料の提示
	4	情報を集めて読み手に分かりやすく表現する 「グラフをもとに話し合う」 (書くこと)		
	4	叙述を基に要点を把握する 「科学と非科学」 (読むこと)		
計	70			

# 令和5年度年間学習計画（シラバス）

教科名 国語 科目名

**現代文A**

3年共通

科目の目標	近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 身に付けさせたい資質・能力：思考力、人間関係形成能力、発信力		
履修年次	3年次	単位数	3
授業の方法	一斉授業		
教科書 副教材	『現代文A』（三省堂） 『漢字能力検定7～2級対応 書きたくなるアシスト常用漢字』（数研出版）		
学習に必要な 物品・費用等	教科書・ノート・ファイル		
学習の目標	(1)近代以降の様々なジャンルの文章を読解する能力を高める。 (2)ものの見方、感じ方、考え方を深める意欲を持つ。 (3)読書意欲を持ち、進んで表現しようと努めることで、自らの人生を豊かにしようとする態度を養う。		
学習の内容と 主な学習活動 ・言語活動	(1)文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 (印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明する等) (2)文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりすること。 (文章の調子などを味わいながら音読や朗読をする等) (3)文章を読んで、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 (外国の文化との関係なども視野に入れて、文章の内容や表現の特色を調べ発表したり論文にまとめたりする等) (4)近代以降の言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探求して、言語文化について理解を深めること。 (図書館を利用して同じ作者や同じテーマの文章を読み比べ、それについて話し合ったり批評したりする等)		
学習の留意点	(1)常に主体的に学習に取り組むことを心がけ、何事に対しても常に自分の考えを持って積極的に読み取ったり、考えたりする姿勢を持ちましょう。 (2)グループ学習や発表の際には、他人の意見や話を尊重して聞き、協力して行いましょう。 (3)自己評価及び相互評価は客観性を大切に、公平に行いましょう。 (4)課題は期限までに確実に提出しましょう。		
評価方法	(1)単元毎の学習状況について、「関心・意欲・態度」「読む能力」「知識・理解」の3つの観点を、A・B・Cで評価します。 ・学習活動に対する取り組み姿勢（発表の仕方や内容、学習活動への参加態度等） ・提出された課題の内容（演習プリント、自己評価、相互評価シート等を含む） ・小テスト及び定期考査の結果 等 (2)各学期の評価は、上記のA・B・Cを平均したものとします。 (3)年度末の評定は、各学期の成績を総合して評価します。		

令和5年度 「現代文A」年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考査等
前期	4	3	ウォーミングアップ	オリエンテーション 視写①	※1 【関】視写を通じて、モノの見方や考え方を広げようとしている。 【読】文章の組み立てに注意しながら筆者の思考の筋道を読み取っている。 【知】段落相互の働きについて理解を深めている。	行動の観察 ワークシート 課題提出
		5	現代の文化を読む1 —随筆—	「求めるものに応えてくれる」 (三浦しをん)	【関】「本」を読むことの意味について考えを深めようとしている。 【読】文章の内容から、筆者の考えを理解している。 【知】主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身に付けている。	行動の観察 ワークシート 課題提出 小テスト
	5	6	現代の文化を読む2 —小説—	「最初のペンギン」 (茂木健一郎)	【関】「最初のペンギン」とは生物界ではどのような存在であり、どういう役割を担っているのかを捉えようとしている。 【読】「最初のペンギン」のような存在は、人間社会の中ではどのような役割を担っているのか、筆者の考えを理解している。 【知】主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身に付けている。	行動の観察 ワークシート 課題提出 小テスト
		4	日本語エクササイズ①	対義語・類義語	※2 【関】言語への理解を深めようとしている。 【知】語彙を増やし、身に付けている。	行動の観察 課題提出
	6	1	ウォーミングアップ	視写②	(※1)	
		5	現代の文化を読む2 —小説—	「アマガエル」 (太田光)	【関】場面ごとの主人公の心情を捉えようとしている。 【読】前半から後半への状況の変化と、それに伴う主人公の心情の変化を捉えている。 【知】小説における、構成の大切さを理解している。	行動の観察 ワークシート 課題提出 小テスト (中間考査)
	7	10	現代の文化を読む2 —小説—	「旅する本」 (角田光代)	【関】文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。 【読】人物、情景、心情などを、どうして作者がこのように描いているのかに気付いている。 【知】文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察 ワークシート 課題提出 小テスト
		4	日本語エクササイズ②	四字熟語	(※2)	行動の観察 課題提出
	8	1	ウォーミングアップ	視写③	(※1)	
		5	現代の文化を読む3 —評論—	眼差しを交わす喜び (高畑勲)	【関】絵を見るという行為について、筆者がどこに喜びを見いだしているのか、理解しようとしている。 【読】絵を見る行為において成立する、絵の中の人物との「個人的な関係」とはどのようなものであるか理解している。 【知】文の段落構成や、使用されている四字熟語や慣用句などの意味を的確に把握している。	行動の観察 ワークシート 課題提出 小テスト (期末考査)
9	4	表現ブラザ2	広告の世界 キャッチコピーコンテスト	【関】実用的な文章の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとしている。 【読】広告のねらいや表現の仕方について理解している。 【知】広告表現の特色について理解している。	行動の観察 ワークシート 課題提出	
後期	10	6	現代の文化を読む3 —評論—	絶え間のない流れの中にある生命 (福岡伸一)	【関】論理の展開を追いながら、生命現象の本質についての筆者の主張を整理して捉えようとしている。 【読】シェーンハイマーの実験に即して展開する筆者の生命現象に関する考察を整理し、的確に読み取っている。 【知】語句の使い方の誤りを指摘し、適切な表現に改めることができる。	行動の観察 ワークシート 課題提出 小テスト
		4	日本語エクササイズ③	敬語	(※2)	行動の観察 課題提出
	10	1	ウォーミングアップ	視写④	(※1)	
		6	現代の文化を読む4 —評論—	境目 (川上弘美)	【関】想像力を働かせながら文章を読もうとしている。 【読】事例を手がかりにして、「境目」がもたらすことの意味を理解している。 【知】文体やレトリックなど、表現の得力について理解を深めている。	行動の観察 ワークシート 課題提出 小テスト
	11	6	現代の文化を読む4 —評論—	モード化する社会 (鷲田清一)	【関】筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。 【読】筆者の考えをもとに自分の考えを深め、発展させようとしている。 【知】複合語や連語などについての理解を深めている。	行動の観察 ワークシート 課題提出 小テスト
		6	現代の文化を読む4 —評論—	人はなぜ働くのか (姜尚中)	【関】語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを読み取るようとしている。 【読】語句や評点に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、読み取っている。 【知】読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	行動の観察 ワークシート 課題提出 小テスト
	12	1	表現ブラザ3	自分の思いを表現する	【関】筆者の語り方に注意しながら、文章を読もうとしている。 【読】個々の言葉のつながりと展開を意識しながら、文章を書いている。 【知】具体例・説明・補足などの文章構成について理解を深めている。	行動の観察 ワークシート 課題提出 (中間考査)
		2	日本語エクササイズ④	ことわざ・慣用句	(※2)	行動の観察 課題提出
	1	1	ウォーミングアップ	視写⑤	(※1)	
		6	近代の小説を読む —小説—	夢十夜 (夏目漱石)	【関】比喩や象徴的表現に興味をもって読解しようとし、「夢」というものの不思議な世界に興味をもち、この作品を通じて考えを深めようと努めている。 【読】描かれている場面を、具体的なイメージとして捉えられる。 【知】個々の語のイメージを正確に読み取ることができる。	行動の観察 ワークシート 課題提出 小テスト (期末考査)
計	90					